

## アプリリア・トゥアレグがアフリカ・エコ・レースを2年連続で総合優勝の快挙

ヤコポ・チェルッティ選手が昨年に続き2025年アフリカ・エコ・レースのチャンピオンに輝き、  
マルコ・メニキーニ選手が25歳以下クラスで優勝



2025年1月12日 ミラノ 2025年のアフリカ・エコ・レースは、最終セクションまで白熱したスリリングなレース展開の中、ヤコポ・チェルッティとチーム・アプリリア・トゥアレグ・レーシングが主導的な役割を果たし、2年連続のタイトルを獲得して閉幕しました。

第16回アフリカ・エコ・レースは、モロッコ、モーリタニア、セネガルの息を呑むような景観を縦断しながら、約6,000 kmに渡りライダーとバイクに困難な試練を課す過酷なルートで、今回のリザルトにより参戦した3台のアプリリアトゥアレグラリーの卓越した性能を証明しました。

ヤコポ・チェルッティは、チャンピオンとしての自覚と決意でレースに挑み、複雑なコース設定や難しい地形などの物理的な困難と、リアタイヤがリムから脱落するトラブルや、ナビゲーションシステムが作動しないといった技術的な問題など、数多くの課題に直面しました。それにもかかわらず、チェルッティは最後の1キロメートル

# aprilia RACING

までタイトルをあきらめることなく、5つのステージ優勝と2つの表彰台を獲得し、アプリリア・トゥアレグ・ラリーでの並外れたパフォーマンスによって困難を克服しました。

フランチェスコ・モンタナリは、2025年大会では着実に成長した走りをと安定性を示し、アフリカ・エコ・レースでの初のステージ優勝と計3回の表彰台を獲得した彼のパフォーマンスは、アフリカラリーのスターの一人としての地位を確固たるものにして無事にレースを終えました。

今回トゥアレグでのデビューとなったマルコ・メニキーニは、ジュニア25歳以下クラスで優勝し、マルチシリンダークラスでも3位を獲得。アフリカ・エコ・レースにおけるチームアプリリアトゥアレグレーシングにさらに1つのトロフィーを加え、総合6位に輝いたパフォーマンスは、彼にとって最良の結果となりました。

この2年連続のタイトル獲得とすべてのライダーが達成した結果は、大規模なラリーレイド競技におけるアプリリアトゥアレグラリーが絶対的な基準としての地位を確立したと言えるでしょう。この大会の最も象徴的なシーンは、タイヤトラブルによりリアホイールのリムだけで第6ステージのゴールに到着したときのもので、その粘り強い精神力に心打たれる光景でした。

グアレスキ兄弟のG Corseとのコラボレーションで開発されたトゥアレグラリーは、適切なチューニングにより昨年に比べて大きな進歩を遂げ、メツラーとのパートナーシップによってさらに確固たるものとなり、アフリカ・エコ・レースのような過酷なラリー競技において、その多用途性、信頼性、パフォーマンスを証明しました。

改めてチームグアレスキのたゆまぬ努力と、この夢の実現に協力いただいたパートナーであるMetzeler、SC Project、Acerbis、RK Chain、Jet Prime、Alpina、Andreani、CHT Chiaravalliに心より感謝申し上げます。







## ヤコポ・チェルッティのコメント

「とても多くの困難に直面したにもかかわらず、最高の形で終わることができました。あまりミスもせずに上手く乗れたと思います。転倒もなく、一貫して集中力を維持することができました。自分のライディングスタイルと、トゥアレグ・ラリーのパフォーマンスのおかげで、砂地では大きなアドバンテージがあり、それを最大限に活かすことができました。戦略が重要となるレースなので、最後の2日間は自分でも不可能だと思っていましたが、なんとか達成できました。砂丘で逃げる事が出来るとわかったとき、自分を信じて100%の力を出し切りしました。素晴らしい仕事してくれたチームメイトのチェッコとマルコにも心から感謝しています。チームのメンバー全員には感謝しきれません。彼らは非常に献身的にこの競争力の高いトゥアレグラリーを私に与えてくれました。また、アレックス・ド・ボットウーリにも祝福したいです。彼のような相手と最後まで戦えたことは素晴らしいことでした。」



## フランチェスコ・モンタナーリのコメント

「この2025年のレースには本当に満足しています。最初の週は、私は常に先頭を争っていました。それはとてもスリリングで、たくさんの経験を積むことができました。その後の難しいステージは、多くのことを学びました。最終的に、第8ステージでステージ優勝を果たしました。ミスをすることなくうまく走れた完璧な一日でした。この功績は、バイクに乗った私だけでなく、素晴らしい仕事をしたチーム全員のおかげです。そして本当にすごい最後の2日間で、直接のライバルとの差を縮めたヤコポを祝福します。マルコにも彼の素晴らしい成果に拍手を送ります。」



## マルコ・メネキーニのコメント

「非常にスリリングなレースでした。私のレースは試練から始まり、初日にクラッシュしましたが、幸いなことに影響はありませんでした。さらにウイルスに感染してしまい 100%の状態ではありませんでした。それでも、2 週目のモーリタニアでは絶好調でした。素晴らしい仕事をしてくれたグアレスキチームには本当に感謝しています。トゥアレグ・ラリーは素晴らしく、最高の気分でした。最終的に総合 6 位、ジュニアクラス 1 位、マルチシリンダークラス 3 位という結果に本当に満足しています。そしてチームメイトにも心から祝福したいと思います。」

## ヴィットリアーノ・グアレスキ: G Corse のコメント

「私たちは、この 2025 年の結果に本当に満足しています。これは私たちのチームとトゥアレグ・ラリーがいかに強いかを裏付ける事になったでしょう。全員 100%の力を出し、ヤコポはあらゆる困難に強い気持ちで立ち向かう並外れたチャンピオンであることを改めて証明しました。そしてモンタナーリは驚くほど成長し、トゥアレグでのデビューを果たしたマルコは素晴らしい才能があることを示しました。」

## アプリアレーシング、オフロードレースから築き上げた伝説

アプリアがレーシング界でのデビューを飾ったのは、1970 年代にスカラベオのようなオフロードモデルを生産していたオフロードレースからでした。1974 年に製造された初代レーシングモーターサイクルは 125cc クロスでした。1977 年には 125cc と 250cc の両カテゴリで初のタイトルを獲得。1978 年には、モトクロス選手権の表彰台に上り、脚光を浴びました。アプリアレーシングは、1985 年にロードレース世界選手権へ進出し、1992 年に初の選手権タイトルを獲得。オフロードレースの世界では、2004 年～2011 年にかけて 2 気筒の SXV 450 と 550 がライダー部門で 3 回、メーカー部門で 4 回のスーパーモト選手権タイトルを獲得し、7 個の世界選手権タイトルを獲得しました。

1989 年にトゥアレグでパリ・ダカールラリーに初参戦した後、アプリアは 2010 年に革新的な RXV ラリー450 ツインで偉大な砂漠のレースに復帰し、2010 年から 2012 年まで 3 年連続でダカールラリーに参戦しました。壮大なラリーで、アプリアは 2010 年に 3 回のステージ優勝と総合 3 位を獲得しています。そして 2024 年にアフリカの砂漠を舞台にしたアドベンチャーラリーに復帰。トゥアレグ 660 を使用し、6,000km を超えるレースの最初から最後まで総合順位でトップを走り、このイタリア製オフロードバイクの性能の高さを証明して見せました。

### ◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアッジオグループジャパン株式会社  
〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail [press@piaggio.co.jp](mailto:press@piaggio.co.jp)

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868